

☆年間第21主日(8月27日)の聖書朗読☆※主任司祭からの解説があります。

### 第一朗読 (イザヤの預言 22章 19-23節)

主は、宮廷を支配しているシェブナに言われる。  
わたしは、お前をその地位から追う。お前はその職務から退けられる。  
その日には、わたしは、わが僕、ヒルキヤの子エルヤキムを呼び、彼にお前の衣を着せ、お前の飾り帯を締めさせ、お前に与えられていた支配権を彼の手に渡す。彼はエルサレムの住民とユダの家の父となる。わたしは彼の肩に、ダビデの家の鍵を置く。彼が開けば、閉じる者はなく、彼が閉じれば、開く者はないであろう。わたしは、彼を確かなところに打ち込み、かなめとする。彼は、父の家にとって栄光の座に着く。

### 第二朗読 (使徒パウロのローマの教会への手紙 11章 33-36節)

ああ、神の富と知恵と知識のなんと深いことか。だれが、神の定めを究め尽くし、神の道を理解し尽くせよう。  
「いったいだれが主の心を知っていたであろうか。だれが主の相談相手であつたらうか。だれがまず主に与えて、その報いを受けるであろうか。」  
すべてのものは、神から出て、神によって保たれ、神に向かっているのです。栄光が神に永遠にありますように、アーメン。

### 福音朗読 (マタイによる福音書 16章 13-20節)

イエスは、フィリポ・カイサリア地方に行ったとき、弟子たちに、「人々は、人の子のことを何者だと言っているか」とお尋ねになった。弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言う人も、『エリヤだ』と言う人もいます。ほかに、『エレミヤだ』とか、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。すると、イエスは

お答えになった。「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。わたしも言うておく。あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつながれる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。」それから、イエスは、御自分がメシアであることをだれにも話さないように、と弟子たちに命じられた。

### 朗読解説 一主任司祭より皆様へ一

まだまだ暑い日が続きますね。八月も終わりに近づき、早く秋の涼しさが来ないかなと思うこの頃です。先週私は黙想会に参加するために那須のベタニア修道院を訪れましたが、そこもまた暑いところで、どこへ逃げても暑い夏でしたね。まあ弱音を吐くのはこのぐらいにして、今日の主日のミサで神さまはどんなことを私たちに話しかけられるのでしょうか、一緒に考えてみましょう。

### 第一朗読 (イザヤの預言 22章 19-23節)

今日のイザヤ書では当時のユダ王国を実質的に動かしていたシェブナという人物の権力を取り上げ、エルヤキムに与えるとの主の言葉が記されています。その時の言葉に、その権力の印として「鍵」を与えると述べられています。当時の要塞や建物には門があり、そこを自由に出入りするカギだったので、自由にできる印、鍵が権力のあかしだったのです。今でも名誉市民などに与えられる印ともなっています。そのように神である主はエルヤキムに権力を与えられたのです。よく「キーマン(keyman)」と言いますよね。

## 第二朗読（使徒パウロのローマの教会への手紙 11章 33-36節）

今日の手紙の後半の部分、「すべてのものは、神から出て、神によって保たれ、神に向かっているのです」という言葉は、ミサの奉献文の最後の締めくくりになっている「キリストによって、キリストとともに、キリストのうちに」によく似ています。きっとパウロの時代にはこういう言い回しが使われていたのでしょうか。ここでパウロは神の理解しがたい英知を讃えているのです。人間は何事にも合理性を求めますが、神の英知はその合理性をはるかに超えた存在だと述べているのです。聖書に示されている様々な不思議、出来事はそれを歌っているのです。マリアに天使が語った言葉「神にお出来にならないことは何一つない」と。

## 福音朗読（マタイによる福音書 16章 13-20節）

「あなたがたは私を何者だというのか(who do you say that I am?)」と言うイエスの質問に一番にペトロは答えます。「あなたはメシア、生ける神の子です」と。この答えに対しイエスは「その答えは父なる神があなたに示したものだ」と応じられます。そしてその答えに対して「あなたはペトロ」という新しい名前、新しい任務、つまり使命を与えられました。その印として、「鍵」を与えられます。この個所は第一朗読でエルヤキムに神が与えた「鍵」と同じ意味ですね。教会はこの個所をもって使徒ペトロの首位権と理解しています。ヴァチカンにある聖ペトロの像にはしっかりとこの鍵が刻まれています。一介の漁師であったペトロがキリストの教会の指導者とされたことは弟子たちの中でも驚きだったでしょうし、当のペトロもきっとびっくりしたことでしょう。福音の中で弟子たちが誰が一番弟子だろうかと言いつつ合っていたことが記されていますが、神の知恵は驚きをもって示されるのですね。



那須のベタニア修道院にて（2021年8月）

**P.S.**

**三階のテラスの防水工事は終わりました。少しして教会内の天井の張替工  
事があります。今しばらくお待ちください。**

**カトリック足立教会  
主任司祭 野口重光**